

第4回学生観光論文コンテスト（賞金総額100万円） 審査委員長の論文総評と受賞者の声

1. 審査委員長の論文総評（中村 裕 一般社団法人日本ホテル協会 元会長）

審査委員を代表して、学生観光論文コンテストの総評を述べさせていただきます。全体で27大学合計49編の応募をいただき、そのうち6編を最終審査させていただきました。皆さん日本の観光の現状を把握されており、特にインバウンドの現状については意識もかなり高くなっていることが窺えました。

6編の最終審査に残った論文を慎重に審査いたしました。論文に甲乙付け難いほど点数が平均化し順位をつけるのに苦労いたしました。結果として、最優秀賞【観光庁長官賞】に値する論文は今回残念ながら見当たらず、優秀賞に立教大学経済学部経済政策学科 菊池ゼミ4年 山田俊太代表がまとめた「日本観光立国化に向けた新たな旅館像の提言～独自調査から見えた外国人旅行者誘致の課題の解決を通して～」へ、並びに琉球大学観光産業科学部観光科学科 観光政策研究ゼミ4年 城間友紀乃代表の作品「沖縄におけるMICE都市計画～MICE TOWN 構想2014～」が各々【公益財団法人日本ナショナルトラスト会長賞】【一般社団法人全日本シティホテル連盟会長賞】に選ばれ、立命館大学経済学部経済学科 寺脇ゼミ4年 近藤真由子代表の作品「宇治茶の新しい食文化を活かした観光振興とその食文化継承に向けた活動の提案～宇治茶スイーツ店マップの作製とその配布効果の検証～」を努力賞として選出させていただきました。従って今年度、観光庁長官賞は見送られましたが、来年は是非受賞者ができるように学生諸君の努力を期待します。

最後になりましたが、第4回学生観光論文コンテストを無事に終えることができたのも観光庁の皆様をはじめとする各種団体のご支援とご高配の賜物と深く感謝し厚く御礼申し上げます。

2. 受賞者の声

1) **優秀賞【公益財団法人日本ナショナルトラスト会長賞】**：立教大学 経済学部経済政策学科4年、菊池ゼミ（経済学部）
山田俊太（代表）・秋山裕紀・尾崎あすみ・小園恵利・宍戸桃佳・田口裕也・芳賀誉史・森頭広・山崎雅人
テーマA「日本観光立国化に向けた新たな旅館像の提言～独自調査から見えた外国人旅行者誘致課題の解決を通して～」

この度は、大変栄誉ある賞を賜り、非常に光栄に思います。そして、このような貴重な機会を設けてくださった関係各所の皆様にも大変感謝いたしております。

本論文ではアンケート調査・ヒアリング調査を軸に執筆を行ってまいりました。これら調査は菊池ゼミで特に力を入れて勉強に励んできたところであり、今回我々ならではの論文を完成させることができたと感じております。そして、いわばゼミナール活動3年間の集大成ともいえる本論をこのような形で評価していただけたことを誠にうれしく思います。この度のような栄誉ある賞を頂けたのも、菊池進教授のご助力、ならびに調査にご協力いただいた旅館関係者の皆さまがいらしてこそその結果であります。菊池ゼミ生一同、皆様にはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

2) **優秀賞【一般社団法人全日本シティホテル連盟会長賞】**：琉球大学 観光産業科学部観光科学科4年 観光政策研究ゼミ
城間友紀乃（代表）・浦崎隆宏・大城望美・親泊さなえ・川野羽・谷川仁美・比嘉江梨香・宮平祥加
テーマC「沖縄におけるMICE都市計画～MICE TOWN構想2014～」

総評&受賞者の声

2015年2月17日

このような名誉ある賞を頂き、大変光栄に思います。大学生活の集大成として取り組んだ研究をこのような形で評価していただき、大変嬉しく思います。

本論文は、沖縄県の「大型 MICE 施設」建設計画を背景に一地方都市としての MICE 振興について考え、沖縄県 MICE 関係者への聞き取り調査、シンガポール、横浜での実地調査を経て執筆致しました。互いの意見をぶつけ合い、最後には学生なりのユニークな提案ができたのではないかと感じております。今回の経験を生かし、日本の観光立国を牽引する人材となるべく各々の分野で日々精進して参りたいと存じます。

最後に本論文の執筆にあたりご指導を賜りました下地芳郎教授、ならびに調査にご協力いただきました沖縄県をはじめ今回支援していただきました大勢の皆様がこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

3) **努力賞**：立命館大学 経済学部経済学科 4年 寺脇ゼミ 近藤真由子（代表）・安楽美月・金山梨夏・上山咲・寺井利依子
テーマ B 「宇治茶の新しい食文化を活かした観光振興とその食文化継承に向けた活動の提案～宇治茶スイーツ店マップの作製とその配布効果の検証～」

この度は「努力賞」という新たな賞を賜りましたことを大変光栄に思います。私たちの論文を高く評価して頂いた審査委員の皆様、ならびに一般財団法人日本ホテル教育センター様には、このような新たな褒賞の機会を設けて頂いたことに心から感謝申し上げます。

私たちは、宇治茶の新しい食文化の発展とそれによる観光振興を目的に、昨年度「宇治茶スイーツ店マップ」を作製し、その配布の効果を経済学的に検証することに取り組みました。本論文は、その効果が絶大であることを示すとともに、そうした宇治茶の食文化を継承していくための活動を、学生を中心に大学の授業の中で展開することの有効性を主張するものです。本研究が、各地域における食文化の継承とそれを活かした観光振興の具体化に向け、その一助となればと願っております。

本論文の執筆にあたり、温かいご指導を賜りました寺脇拓教授、ならびに調査にご協力頂いた多くの皆様がこの場を借りて厚く御礼申し上げます。今回の受賞を糧にして、卒業後もそれぞれが社会に貢献できる人間になれるよう、努力してまいりたいと思います。この度は誠に有り難うございました。

3. 今年度の応募学校名一覧（五十音順）

愛知学院大学、会津大学短期大学部、石川県立大学、沖縄国際大学、金沢星稜大学、京都大学、杏林大学、九州国際大学、駒澤大学、高崎経済大学、成城大学、千葉大学、創価大学、長岡技術科学大学、帝京大学、東京工業大学、東京大学、同志社大学、阪南大学、法政大学、北海道大学、明治大学、立教大学、立命館大学、琉球大学、龍谷大学、横浜国立大学。

4. 過去4年間の応募論文数と学校数

1) 第1回	2011年度	論文数～33編	学校数～9大学・3専門学校
2) 第2回	2012年度	論文数～61編	学校数～28大学・2専門学校
3) 第3回	2013年度	論文数～62編	学校数～27大学・1専門学校
4) 第4回	2014年度	論文数～49編	学校数～27大学

以上